

茨城県 育成会だより

第 153 号

発行日 令和6年7月10日
 発行 一般社団法人
 茨城県手をつなぐ育成会
 編集 広報委員会
 事務局 〒310-0851 水戸市千波町1918
 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内
 ☎ 029-243-3838
 FAX 029-243-3854
 URL <http://www.ibaikuseikai.com/>
 e-mail iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp



合同運動会
(たつのこアリーナ)



リンゴ狩り



バス旅行 (かみね動物園)



ハロウィンパーティー

社会福祉法人銚光会

理事長 大貫 由美子

社会福祉法人銚光会は平成22年に設立、平成23年美浦村に小規模特別養護老人ホームリヴァージュを開設、平成27年に牛久市にケアセンター「輪(りん)」、平成30年にケアセンター「梵(そよぎ)」、令和4年にはケアセンター「橙(だいだい)」を開設しました。

障害福祉サービス事業所である「輪」、「梵」、「橙」の3施設は、日中は生活介護事業所として身辺介助のほか、創作活動や機能訓練を提供しています。また、アメリカで自閉症の療育支援として開発されたTEACCH(ティーチ)プログラムを積極的に取り入れることで、自閉症の方の自立支援において大きな効果上げています。

入所サービスとして、「輪」は施設入所支援と短期入所、「梵」はグループホームと短期入所、「橙」はグループホームを設置し、入所定員は合計で100床を超え、県南地域の障がい者施設では最大規模となっています。また、夜間は全施設に夜勤者を配置して常時介護が必要な方に支援可能な体制を整えています。

また、障害のある方やご家族への相談に応じたり、障害福祉に関する情報提供の窓口として、特定相談支援事業所「輪」を併設しております。

連絡先：牛久市久野町554
 電話：029-1875-5226

令和6年度定時総会開催される

令和6(2024)年6月14日(金)、一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会(略称:県育成会)令和6年度定時総会が水戸市のセキショウ・ウェルビーイング福祉会館で開催されました。

永井会長のあいさつの後、事務局から令和5年度事業報告及び決算の報告があり、引き続き令和6年度事業計画(案)及び予算(案)の審議がなされ、全会一致で決議されました。



新役員

なお、事業計画の重点テーマは、①ホームページ、会報誌等による情報発信と若い世代のニーズに即した事業展開、②地域の学校児童生徒の保護者等との交流活動の促進、③地域育成会への情報提供と県育成会との連携と結束の三点です。

その後、同様に「役員改選」の提案がなされました。その内容は県内5ブロック(地



総会全体

域育成会)から選出されている理事の数を減らすというもので、ブロック理事数を21名から14名にするというものでした。その理由は、県の監査の際に「他の団体に比して理事の数が多い」という指摘があったことと県育成会のスリム化を図るというものでした。質疑応答などの審議ののち、全会一致で決議されました。その後、理事会が開催され、永井会長が再選されました。

本日はお忙しい中、県内各地からお集まりいただきありがとうございます。

令和6年度の定時総会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

さて、本年4月から「合理的配慮の提供」が一般の事業者にも義務付けられました。また、福祉施設で介護等の業務にあたる職員の待遇改善に向けた報酬改定も実施されます。

このような障害者福祉の状況の改善には、私たち手をつなぐ育成会の意見や要望も



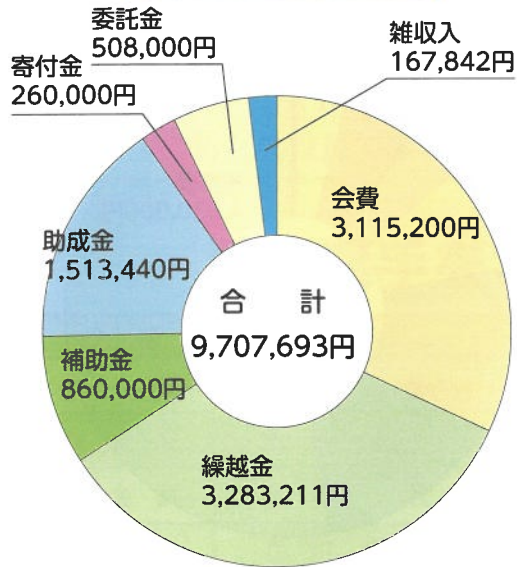
永井会長あいさつ

反映されています。自ら意見を表明することの難しい知的障害者の福祉の向上には、私たちのような家族の意見、思いを集約して国に届けていくことがとても大切です。

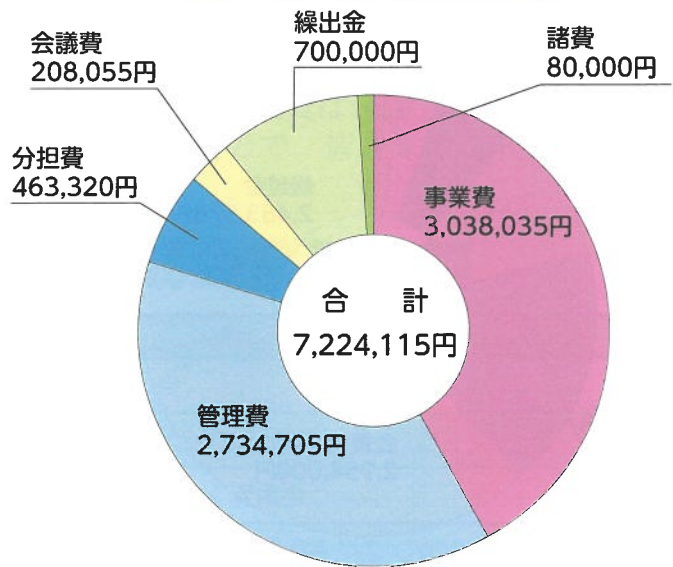
手をつなぐ育成会としては、会員の減少、高齢化など課題はいろいろありますが、ぜひ皆さんの力を結集し、知的障害者にとって安全で安心な社会が実現するよう頑張りましょう。

令和5年度決算報告概要

一般会計収入の部



一般会計支出の部



期間 自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

項目・収入額	主な内容	金額
会費 3,115,200	地域育成会	2,941,400
	心身協	10,000
	特別支援教育研究部	127,800
	知的障害特別支援学校	19,000
	賛助会員	17,000
補助金 860,000	心身障害児(者)福祉団体補助金	360,000
	福祉団体支援事業補助金	500,000
委託金 508,000	ボランティア活動参加促進事業	158,000
	相談員活動強化事業	350,000
助成金 1,513,440	共同募金配分金	350,000
	地方活動助成金	163,440
	いばらき障害者生活サポート協会	1,000,000
寄付金 260,000	茨城県PTA連絡協議会	60,000
	茨城県遊技業協同組合	50,000
	茨城新聞文化福祉事業団歳末愛の募金	150,000
雑収入 167,842	銀行利息	62
	大雨災害見舞金等	60,000
	育成会だより広告掲載料(JIC)	100,000
	全育連総会旅費	7,780
繰越金		3,283,211
計		9,707,693

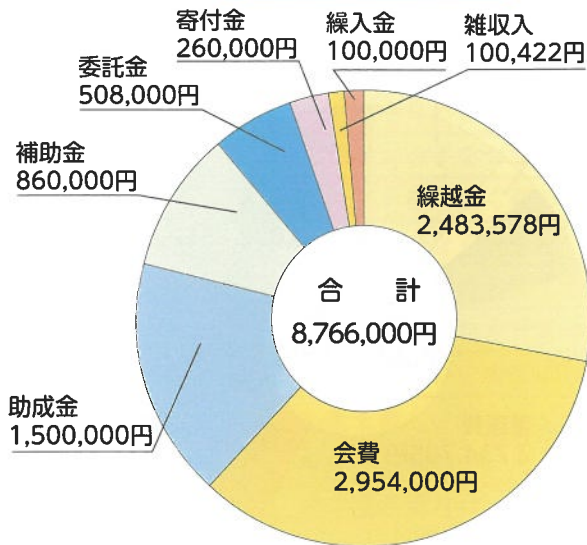
【一般会計支出の部】

単位：円

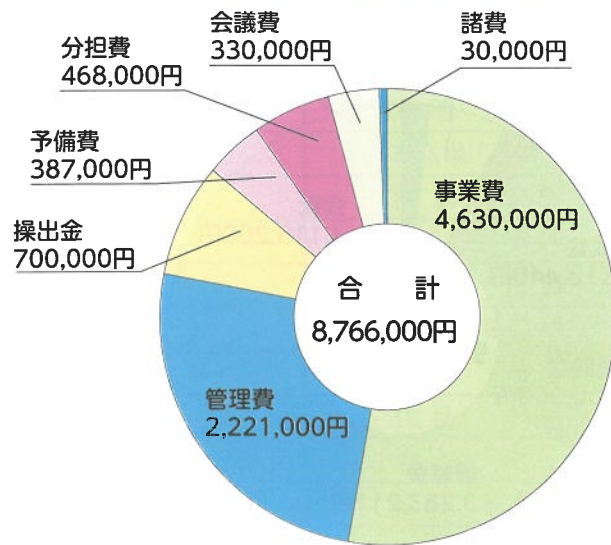
項目・支出額	主な内容	金額
会議費 208,055	理事会	172,060
	総会等	35,995
事業費 3,038,035	研修費	366,710
	大会費	319,270
	専門委員会費	606,443
	手をつなぐ子らの作品展	0
	組織強化費	369,414
	啓発推進	587,977
管理費 2,734,705	代表者派遣費	330,930
	団体助成費	105,977
	相談研修事業費	351,314
	旅費	7,640
分担金 463,320	需用費	315,062
	役務費	207,877
	人件費	2,142,552
	借用損料	61,574
繰出金		700,000
諸費		80,000
予備費		0
計		7,224,115

令和6年度予算概要

一般会計収入の部



一般会計支出の部



期間 自：令和6年4月1日
至：令和7年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

項目・収入額	主な内容	金額
会費 2,954,000	地域育成会	2,800,000
	心身協	10,000
	特別支援教育研究部	125,000
	知的障害特別支援学校	19,000
補助金 860,000	県福祉団体補助金	360,000
	県福祉団体等支援事業補助金	500,000
委託金 508,000	ボランティア活動参加促進事業	158,000
	相談員活動強化事業	350,000
助成金 1,500,000	共同募金配分金	350,000
	地方活動助成金	150,000
	いばらき障害者生活サポート協会	1,000,000
寄付金 260,000	茨城県PTA連絡協議会	60,000
	茨城県遊技業協同組合	50,000
	茨城新聞文化福祉事業団歳末愛の募金	150,000
繰入金 100,000	特別会計予算より	100,000
雑収入 100,422	広告掲載料	100,000
	預金利子	422
繰越金		2,483,578
計		8,766,000

【一般会計支出の部】

単位：円

項目・支出額	主な内容	金額
会議費 330,000	理事会	290,000
	総会等	40,000
事業費 4,630,000	研修費	600,000
	ブロック懇談会	100,000
	大会費	700,000
	専門委員会費	1,160,000
	手をつなぐ子らの作品展	0
	組織強化費	450,000
	啓発推進	710,000
	代表者派遣費	260,000
管理費 2,221,000	団体助成費	300,000
	相談員研修事業費	350,000
	旅費	20,000
	需用費	400,000
分担金 468,000	役務費	311,000
	人件費	1,300,000
	借用損料	190,000
繰出金 700,000	分担金	468,000
諸費 30,000		30,000
予備費 387,000		387,000
計		8,766,000

○令和6年度からの県育成会の役員について

令和6年度の役員の変更については、これまでの役員の数と副会長の人数を変更しました。変更に関しては、正会員である単位育成会の数を考慮しながらスリム化を目指して理事会で協議し、全育連や関東近県の育成会の状況を参考にして「役員候補者の選出に関する規程」を改正し、各ブロックの構成団体数の3分の1程度の推薦者数に改めました。また、臨時理事会により、副会長は理事の中から3名を選定し、併せて顧問2名を選任しました。

この結果、令和6年度・7年度の県手をつなぐ育成会の役員は、以下のとおりです。引き続き、新たな役員で事業活動を進めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

茨城県手をつなぐ育成会役員名簿

役 職	氏 名	所 属
会 長	永 井 立 雄	日立市手をつなぐ親の会
副 会 長	嶋 田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会
副 会 長	飯 村 晴 代	つくばみらい市手をつなぐ育成会
副 会 長	立 川 益 信	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会
理 事	中 村 正 子	ひたちなか市障害児者育成会
理 事	大 高 滋	古河市心身障害児(者)父母の会
理 事	鈴 木 胖	北茨城市手をつなぐ育成会
理 事	杉 山 正 美	小美玉市心身障がい児者父母の会
理 事	田 口 美 博	水戸手をつなぐ育成会
理 事	徳 永 一 成	稲敷市手をつなぐ育成会
理 事	根目沢 浩幸	かすみがうら市手をつなぐ育成会
理 事	花 田 三 男	神栖啓愛園保護者会
理 事	大 島 みのる	桜川市手をつなぐ育成会
理 事	菅 谷 久美子	結城市心身障害児(者)父母の会
理 事	清 水 学	本人活動委員会
理 事	大 竹 正 美	本人活動委員会
理 事	檜 山 太 一	一般社団法人茨城県心身障害者福祉協会
理 事	瀬 尾 栄	茨城県教育研究会特別支援教育研究部
理 事	坪 松 久美子	茨城県特別支援学校知的障害教育校長会
監 事	露久保 真依子	常陸大宮市手をつなぐ育成会
監 事	後 藤 真 紀	つくば市手をつなぐ育成会
常務理事 兼事務局長	村 田 裕 二	一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会
顧 問	矢 野 清	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会
顧 問	大 坪 浩	利根町手をつなぐ育成会

一般社団法人茨城県手をつなぐ育成会名簿

令和6年6月14日現在

No.	ブロック	会 名	会長名
1	県北	日立市手をつなぐ親の会	永井 立雄
2		高萩市手をつなぐ育成会	豊田 守
3		北茨城市手をつなぐ育成会	鈴木 胖
4		大子町心身障害児者父母の会	菊池 和保
5		常陸大宮市手をつなぐ育成会	露久保 真依子
6	県央	水戸市手をつなぐ親の会連絡協議会	清水 宏美
7		水戸手をつなぐ育成会	田口 美博
8		ひたちなか市障害児者育成会	深谷 悦男
9		笠間市手をつなぐ育成会	石川 美佐穂
10		那珂市障がい児者親の会	若谷 則彦
11		小美玉市心身障がい児者父母の会	伏見 千夏
12		東海村心身障がい児者親の会	坂下 由子
13		育心園保護者会	富田 裕美子
14		若葉園父母の会	中村 晴美
15		NPO 法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会	立川 益信
16	鹿行	潮来市障がい者児親の会	吉川 佳代子
17		NPO 法人あすなろ会	高橋 等
18		神栖啓愛園保護者会	花田 三男
19	県南	土浦市手をつなぐ育成会	井上 圭一
20		石岡市手をつなぐ親の会	菊地 喜之
21		石岡市心身障害児者父母の会	岩橋 ふみ
22		石岡市手つなぐ育成会野ばらの会	嶋田 みち子
23		牛久市手をつなぐ育成会	古舘 佳巳
24		莒崎手をつなぐ育成会	橋本 佳子
25		稲敷市手をつなぐ育成会	徳永 一成
26		かすみがうら市手をつなぐ育成会	根目沢 浩幸
27		つくばみらい市手をつなぐ育成会	飯村 晴代
28		河内町手をつなぐ育成会	金子 由夫
29		利根町手をつなぐ育成会	大坪 浩
30	つくば市手をつなぐ育成会	後藤 真紀	
31	県西	古河市心身障害児(者)父母の会	大高 滋
32		結城市手をつなぐ育成会	大橋 純一郎
33		結城市心身障害児(者)父母の会	菅谷 久美子
34		坂東市心身障害児者父母の会	栗原 芳男
35		下妻市心身障害児者父母の会	川面 圭司
36		境町心身障害児者父母の会	福田 勝房
37		桜川市手をつなぐ育成会	大島 みのる
38		(一社)茨城県心身障害者福祉協会	檜山 太一
39		茨城県特別支援学校知的障害教育校長会	石上 智子
40		茨城県教育研究会特別支援教育研究部	瀬尾 栄

育成会長活動日記

第6回



社会は変わる、差別はなくなる？

茨城県手をつなぐ育成会 会長 永井 立雄

私事で恐縮ですが、私が会長を務めていた地元の町内会が先日解散しました。以前から会員減少と高齢化が課題になっていました。コロナの影響もあってここ数年活動が停滞していましたが役員のみならず手も見つからず、ついに解散することになってしまいました。

この高齢化という社会的現象は、町内会のような身近なところでも、あるいは生産現場、さらには国の政治の世界でも目立ってきています。日々のニュースでも高齢化という言葉が聞かない日はないくらいです。

思えばコロナ禍の数年、あるいはもっと以前から私たちが暮らすこの社会のありようは大きく変化してきています。手をつなぐ育成会活動が全盛だった頃は、父親が外で働き、母親は家庭を守るというのが一般的な家族のスタイルでした。しかし、今の若い世代では夫婦共働きが当たり前です。結婚をしないシングルと呼ばれる人たちが増加、ひとり親家庭も多くなっています。

このように社会の在り方が大きく変わる時代を迎えています。科学技術は発達し、医学は目覚ましい進歩を遂げ、多くの病気が治るようになりました。しかし、このような時代でも障害のある子どもは生まれてきます。かつてそのような子たちに強制的に避妊手術を施した歴史が私たちの国にはあることを忘れてはいけません。

ここ数年、障害者の支援や権利に関する法律が作られ、障害者を取り巻く社会の状況は少しずつ改善しているように見えます。社会のあちこちに「差別」という問題があからさまに横たわっていた時代に比べると、障害者を取り巻く環境は明らかに改善してきています。差別は少なくなったという印象を持たれる方も少なくないと思います。しかし、よくよく目を凝らしてみれば、差別はより目立たないところで、より巧妙にはびこっていることがわかります。強制的な避妊について国は正式に謝罪しましたが、障害を受精卵の段階で判別し、排除する技術は一般的になってきています。障害を忌むべきもの、排除すべきものという思想は変わっていません。

ですから、今まで手をつなぐ育成会の先輩たちが向き合ってきた、障害のある人に向けられたあらゆる理不尽な扱いにこれからもしっかりと、向き合っていかなければなりません。高齢化も会員減少も乗り越えて、私たち親が、あるいは家族がこの問題に今後も粘り強く取り組んでいくことは絶対に必要なことだと思います。



令和6年7月からの行事予定

月	日(曜日)	行事予定	月	日(曜日)	行事予定
7月	11日(木)	第2回総務委員会(小研修室A)	10月		第3回理事会(中研修室)
	13日(土)	本人活動委員会(団体会議室)		11日(金)	茨城県社会福祉大会(龍ヶ崎市文化会館)
	24日(水)	第1回知的障害者相談員研修会(ザ・ヒロサワ・シティ会館)		12日(土)	第9回全育連全国大会・秋田大会(~13日・秋田市)
8月	第2回理事会	17日(木)		茨城県障害者福祉の集い	
9月	3日(火)	全育連・啓発キャラバン隊研修会(東京都大田区・オンライン)	11月	6日(水)	第2回知的障害者相談員研修会(大研修室)
	14日(土)	県障害者スポーツ大会「レクリエーション競技」(笠松運動公園)		8日(金)	理事会(中研修室)
	25日(水)	研修会(コミュニティホール)			第61回手をつなぐ育成会茨城大会
	28日(土)	第58回関プロ大会・新潟大会(新潟テルサ)	12月	5日(木)	ナイスハートふれあいフェスティバル(~9日)

新任相談員として

相談員 おおさわ やすし 大沢 靖司

令和6年4月から「障害者なんでも相談室」の相談員をすることになりました。これまでは、小学校や特別支援学校に勤務し、主に障害のある子供たちの成長を見守ってきました。定年退職後は、茨城県教育研修センターにおいて障害のあるお子さんの教育相談や特別支援教育に関する研修に携わってまいりました。

これからは、教育相談にとどまらず、先輩の相談員の方々からのご指導を受けながら、相談される皆さんの力になれるように努力してまいります。

休みの日には、体力維持のために近くにある千波湖周辺をジョギングしています。2年前からそこで行われている目の不自由なブラインドランナーさんたちの練習会に伴走ボランティアとして参加することになり、視覚障害者の方々から多くのことを学んでいます。このような経験も生かしながら、相談業務に励んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

令和6年(2024)度より、広報委員会に新しく2名のメンバーが加わります。新しい雰囲気を出してくれると、思います。個人の能力は人それぞれ持ち味があります。持ち味を活かしながら広報委員会では、誰もが持っている長所を遺憾なく発揮し『和』(和気あいあいの心)をもって情報を発信する「育成会だより」に関わっております。私事ではありますが、趣味として旧日本軍の軍事施設跡地を巡るのと、ご当地の美味しい食べ物、酒があれば楽しく過ごせるかなと思うこの頃です。

新しく広報委員になられる方は、次号にて本人より紹介して頂きます。

徳永 一成